



「くにみ農業ビジネス訓練所」で放水訓練を行う団員

## 火災のない町を目指して 国見町消防団初午行事

国見町消防団（村上信夫団長）による初午行事が3月10日、町内各地で行われました。

初午行事は、消防団が水利箇所を点検したり、各家庭を回りながら火の用心を呼びかける春の風物詩。昨年開所した「くにみ農業ビジネス訓練所」では、第2分団による放水訓練が行われ、火災時の備えを確認しました。



第5分団第1部に配備された消防ポンプ自動車

## 地域の安全・安心を守ります 消防ポンプ自動車交付式

国見町消防団への消防ポンプ自動車交付式が3月16日、国見町役場で行われました。

交付式では、太田久雄町長から村上信夫団長へ、村上団長から吉田和男第5分団長へレプリカキーが手渡されました。吉田分団長は「ポンプ車を活用して地域の安全安心の確保に努めます」と謝辞を述べ、防火防災への誓いを新たにしました。



“国見魂”は卒団生（前列）から後輩へと受け継がれます

## 仲間たちとの思い出を胸に新たな一歩 国見ソフトボールスポ少卒団式

国見ソフトボールスポーツ少年団（鎌水竜一団長）の卒団式が3月17日、森江野町民センターで行われました。

卒団式では、3月で小学校を卒業する6年生の団員5人に鎌水団長から卒団証書と記念品が贈られました。卒団式後は、1年間の試合写真のスライドショーで仲間たちとの思い出を振り返りながら、団員は自身の確かな成長を実感していました。



最優秀賞のトロフィーを受け取る坂本さん（右）

## “<sup>こんしん</sup>渾身の一枚”をたたえる 国見町フォトコンテスト表彰式

第23回国見町フォトコンテスト『くにみのたからもの！部門』表彰式が3月22日、観月台文化センターで行われました。

表彰式では、最優秀賞に輝いた坂本礼三さん（福島市）はじめ入選者15人に、国見町まちづくり推進協議会の佐藤金宏会長らから賞状やトロフィー、副賞が手渡されました。

※入選者と作品はP7に掲載しています。



フラワーアレンジメント作りを楽しむ参加者

## 道の駅から生まれる素敵な出会い くにみ花結びカフェ

若者交流イベント「くにみ花結びカフェ」が3月24日、道の駅国見あつかしの郷で行われ、町内の男性10人と町内外から参加した女性10人が交流しました。

参加者は、高橋生花店の高橋友一氏を講師に迎えてフラワーアレンジメント作りに挑戦。また、アフタヌーンティーパーティーも開かれ、優雅なひとときを過ごしながら交流を深めました。



表彰を受けた入賞者のみなさん

## “暴力を通用させない地域の輪” 暴力団排除標語コンクール表彰式

桑折・国見地区暴力団排除推進連絡会主催の暴力団排除標語コンクール表彰式が2月14日、県北中学校で行われました。

今回は、県北中2年生から73点の応募があり、最優秀賞に清水万優子さんの作品『暴力を通用させない地域の輪』が選ばれました。他の入賞者は次のとおりです。

優秀賞＝佐野竜都さん、岡崎彩那さん、鴨田梨奈さん、齋藤桃さん



反射材着用を呼びかける関係者

## ピカッと守る☆ふくしま運動 国見町が“反射材着用モデル地区”に

国見町が「反射材用品等着用推進モデル地区」に指定されたことを受け、高齢者の反射材着用を呼びかける啓発キャンペーンが3月1日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

キャンペーンには、桑折地区交通安全協会と町交通対策協議会、警察関係者が参加し、道の駅来場者に反射材やチラシを配りながら、夜間外出時の反射材着用を呼びかけました。



『ドッチビー』で交流を深める団員

## 勝利を目指して一致団結！ 国見町スポーツ少年団交流大会

国見町スポーツ少年団交流大会が3月2日、観月台文化センター体育館で開かれ、5団体の約80人が参加しました。

大会では、学年男女混合6チームによるドッチビー競技が行われ、白熱した試合を繰り広げました。優勝チームには、町スポーツ少年団副本部長からメダルが授与されました。大会を通じ、団体の枠を越えて団員間の結束と交流を深めました。



ストレッチ法を学ぶ参加者

## スポーツのリスクマネジメントを学ぶ スポーツクリニック講習会

国見町体育協会主催のスポーツクリニック講習会が3月3日、観月台文化センターで開かれ、会員約30人が参加しました。

講習会は、県スポーツ医・科学委員会の関根智美氏を講師に迎えて行われ、参加者は正しいストレッチ法やテーピングを使った応急手当について実践しながら学び、スポーツにおけるリスクマネジメントの重要性を再認識しました。



新聞紙を使って体操する親子

## 親子で一緒に楽しいひととき 『ママカフェ～親子でLet's Play!～』

子育て支援の一環として、ママカフェが3月6日、観月台文化センターで開かれ、9組の親子20人が参加しました。

ママカフェでは、郡山女子大短期大学部の柴田卓講師が、親子でできる簡単な体操を紹介。体操後、仙台大学体育学部の柴田千賀子准教授をコーディネーターに迎えて茶話会を開き、子育ての悩みなどを話し合いながら、“ママトーク”に花を咲かせました。